

# ふるさと探訪

## 第28回 金剛院



- ▲ 市指定の文化財である山門
- ◀ 源実朝の供養塔と言われ、県指定文化財の七重石塔

金剛院は、佛生山金剛院光明寺とい  
い、保元年間に創建され、八堂山にあ  
ったと伝えられています。八堂山の名  
前は、金剛院の七堂伽藍の上に本尊で  
ある不動明王を祀る不動堂を建てたこ  
とによりつけられたといわれています。  
1585年の天正の陣で全焼したの  
ち、西条藩主の一柳直興公により万治  
2（1659）年に現在の地へ再建さ  
れました。境内には、高さが3・22  
メートルの七重の石塔があります。こ  
の石塔は、源実朝の供養塔といわれ、  
文永年間に実朝の奥方である本覚尼が  
亡夫の五十年忌の供養のために、建立  
したものであろうといわれています。  
昭和29年には、石造美術品として愛媛  
県の有形文化財の指定を受けています。

また和様の山門は、単層入母屋造  
り・一軒・半繁垂木・本瓦葺きの四脚  
門で、山門正面には越智直泰筆「佛生  
山」の扁額が掲げられており、この越  
智直泰は後の小松藩三代藩主一柳直卿  
公です。昭和55年、山門全体が市指定  
の文化財となっており、後背の八堂山  
の緑の中、落ち着いた風情を醸し出し  
ています。

- 住所 福武甲1444
- 電話 0897-5512365
- 駐車場 あり（無料）

